

# **Meet the World 2018**

English through Newspapers

Edited with Notes

by

Yasuhiko Wakaari

 **SEIBIDO**

写真提供  
AP / アフロ  
AFP=時事  
読売新聞社

**Meet the World 2018**  
**English through Newspapers**

---

Copyright © 2018 by Yasuhiko Wakaari

*All rights reserved for Japan.  
No part of this book may be reproduced in any form  
without permission from Seibido Co., Ltd.*

## はしがき

この教科書を手にしたみなさんの中には、「テレビやインターネット、スマホがあるこの時代に、なぜわざわざ新聞を読まなくてはいけないの？」と疑問に思う人がいるかもしれません。確かにテレビは新聞と比べて娯楽性や臨場感に優れていますし、インターネット上には膨大な情報量と、これまでのメディアにはなかった「双方向性」があります。また携帯電話やスマートフォンの普及によって、世間の注目を集めている試合や選挙の結果は、翌朝に新聞が届くよりもはるかに早く、しかも検索しなくても分かるようになりました。

では、新聞はもう必要ないのでしょうか。いいえ、決してそんなことはありません。情報技術が発達した現在だからこそ、実は新聞が必要なのではないのでしょうか。

みなさんがすでに普段の生活で体験しているように、現代社会にはさまざまな情報があふれています。例えば、インターネットの検索エンジンに「英字新聞」と入力すると50万件以上が、「新聞」に至っては6億件以上がヒットします。

このように情報が氾濫している状況では、情報の取捨選択を行い、選択した情報に基づいて行動することが必要になります。では、情報の取捨選択で一番大切なことは何でしょうか。

これについてはさまざまな意見があるかもしれませんが、情報で最も重要なのは、その「信頼性」だと思います。いくら早く手に入れることができても、信頼性に欠ける情報であれば、それを基に行動するのは危険と言えます。東日本大震災の津波や福島第1原発の事故の際に流れたさまざまな情報は、そのことを私たちに教えてくれたのではないのでしょうか。

新聞は、現在の多様化したメディアの中で、最も信頼性が高いことが各種調査で明らかになっています。他のメディアに比べ記録性に優れていることが、その証拠と言えるでしょう。新聞を読み、信頼性の高い情報を基に行動する習慣を身に付けることは、みなさんがこれから自分の将来を選択する上で極めて重要です。

## 本書の目的と特徴

本書は、英語はある程度読めるけれど英字新聞はほとんど読んだことがない方を対象とした教材です。本書の目的は3つあります。一つは英字新聞に慣れ親しんでもらうこと、もう一つは英字新聞を読むためのノウハウを身に付けてもらうこと、そして最後に、みなさんの身の回りで起こっているさまざまな出来事に興味を持ってもらうことです。それぞれの目的に関して、本書で工夫した点をいくつか紹介します。

### (1) 英字新聞に慣れ親しんでもらうこと

みなさんは英語の文章を訳したときに「なんとか日本語にできたけど、内容はほとんど分からなかった」といった経験をしたことはないのでしょうか。これにはいくつかの理由がありますが、「文章の背景状況が分からない」ことが大きな要因として考えられます。

本書では、Before reading において記事と関連する情報を提示したり、記事を理解する上で重要な語句を確認するタスクを設けています。本書で学習を進めていくことで、「内容に関する背景知識があれば、英文記事の内容理解はそれほど難しくない」ことが実感できるでしょう。

また、収録した記事は、語数を中心に、トピックや場面のわかりやすさにも配慮して配列しています。本書での学習を通じて、最初は「長い」と感じていた記事にも、いつの間にか抵抗なく取り組めるでしょう。

## (2) 英字新聞を読むためのノウハウを身につけてもらうこと

英字新聞の理解には、内容に関する背景知識の理解に加え、記事の形式、つまり新聞英語の構成や特徴の理解も重要です。

本書ではみなさんにこのようなノウハウを身につけてもらうために、新聞英語の特徴を要点ごとにコラムにまとめ、本書の Unit 1～10 で紹介しています。またコラムの内容理解を助けるためのタスクを設け、記事を読みながら形式について少しずつ理解できるよう配慮しました。さらに、巻頭の iii～v には新聞英語の特徴をまとめて掲載しています。

## (3) 現在の社会で起こっている様々な出来事に興味を持ってもらうこと

本書では、現在の社会で起こっているさまざまな出来事に目を向けてもらえるよう、*The Japan News* 紙から、日本で起きた出来事と海外発の記事をバランスよく収録しています。また、この種の教材としては多めの 20 の記事を収録しました。特に、2020 年の東京五輪に向けた動きや人工知能など、みなさんの現在や今後の生活に関わる話題を多く取り上げています。

もし本書の中にみなさんの興味をひく記事があったら、ぜひ関連する情報を調べてみて下さい。記事に関する知識が深まると同時に、もっと多くのことを知りたいと思うようになるでしょう。そういう興味、関心を持つことが、みなさんの将来の進路を決める意外なきっかけになるかもしれません。

## おわりに

本書の作成にあたっては多くの方のご協力をいただいております。特に秋田大学の学生の皆さんには有益なアドバイスをたくさんいただきました。また成美堂の中澤ひろ子氏、編集部長の菅野英一氏をはじめとするスタッフの方々にも本当にお世話になりました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

若有 保彦

## 新聞英語の特徴

### 構成の特徴：いろいろな読み方に対応した記事の構成

本や雑誌に比べ、新聞はいろいろな読み方をされます。時間をかけて全ての記事を熟読することもあれば、特定の記事だけを読んだり、記事の最初の部分にさっと目を通すだけのこともあります。新聞記事は最初の部分だけしか読まなくても要点が把握できるよう、Headline（見出し）、Lead（前文）、Body（本文）の3つで構成されています。

### Headline の特徴①スペースの効率的利用

広告のコピーライティングと同様、新聞記事の Headline は「短く、鋭く、気の利いた」(Short, Sharp, Snappy) 表現で読者の目を引くように、また限られたスペースでメッセージを最も効率的に伝えられるようにさまざまな工夫をしています。例えば、①冠詞、②特別動詞 (BE, HAVE)、③接続詞 (and, that)、④文の終わりのピリオド、といったメッセージの意味・内容に大きく関わらない語や記号は基本的に省略されます。また、⑤略語、⑥短縮語、⑦つづりの短い語、のような省スペースの表現が多用されます。

### Headline の特徴②時制の変化

Headline では is, were といった BE 動詞や has, had のような HAVE 動詞が省略されるなど、通常の英語とは異なった時制表現が用いられます。具体的には、①「現在完了」の表現及び「過去形」は「現在形」に、②「受身」の表現は「過去分詞」だけに、③「BE 動詞 +ing」(進行中、または現在から見て実現の可能性が極めて高いことを示す表現) は「現在分詞 (-ing)」に、④「BE 動詞 +going to+ 動詞の原形」(現時点で可能性が高いことを示す表現) は「to+ 動詞の原形」になります。

通常の英語では	新聞英語では
過去形	現在形
[HAVE] + 過去分詞	
[BE] + 過去分詞	過去分詞
[HAVE] been + 過去分詞	
[BE] + [DO]ing	現在分詞
[BE] + going to + 動詞の原形	to+ 動詞の原形

### Headline の特徴③句読点の使用

Headline では and, that といった接続詞が省略され、代わりにコンマ (,) が使われます。またコロンの (:), セミコロン (;) にも接続詞や一部の前置詞の代わりにする働きがあります。コロンは誰かの発言や補足説明、セミコロンは前半部分と後半部分が何らかのつながりを持っていることを示します。具体的には、前半の内容について後半でその理由を挙げて説明したり、前半と後半の内容が対照的であることなどを意味します。

#### Headline の特徴④ 略語、縮約語の使用

Headline では IMF, NATO, IOC, WHO のような略語や、Dept., S' pore といった縮約語が多用されます。縮約語は Dept. や ad. のように語の最後にピリオド (.) がついたり、S' pore や int'l のようにアポストロフィ (') がつくことが多く、読み手はそれらの記号によって縮約語であると知ることができます。しかし記事によっては dept や intl のように、そのような記号までも省略されることがあります。

#### Headline の特徴⑤ つづりの短い語の使用

Headline では同じような意味を表わす語が 2 つ以上ある場合、つづりの短い方を用います。例えば「援助する」の意味を表わす語には aid や assist、「問題」には issue や problem などの語がありますが、新聞英語では特別な事情がない限り短い方の aid や issue を使います。

#### Headline の特徴⑥ 簡潔な表現の問題点

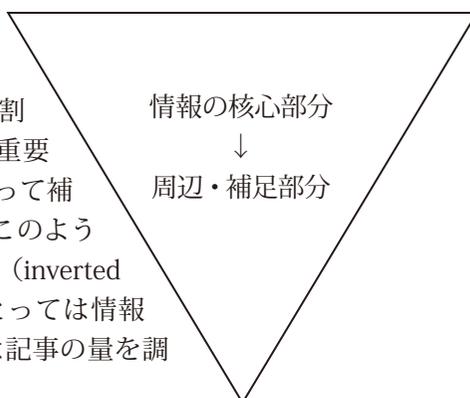
Headline ではメッセージの意味・内容と大きく関連しない機能語（例：特別動詞や接続詞）を省略したり、省スペースの表現（例：縮約語やつづりの短い語）を多用するなど、メッセージを効率的に示すための工夫をしています。他方で、機能語の省略や省スペース表現の多用は、いろいろな解釈を可能にしてしまうという問題を伴います。例えば新聞英語の現在形は過去形と現在完了の両方の解釈ができます。また、Rep. という縮約語は Republican（[米国の] 共和党員）にも Representative（[米国の] 下院議員）にも解釈することができます。こういった場合の判断には Headline 全体あるいはその先の Lead や Body まで読むことが重要です。

#### Lead の特徴

記事全文のうち最初の段落の部分を Lead（前文）と言います。Lead は記事の書き出しであると同時に記事全文の要約でもあります。Lead には「5W1H」、つまり Who, What, When, Where, Why, How（誰が、何を、いつ、どこで、なぜ、どのように）に関する情報が簡潔に含まれていて、この部分を読むだけで記事の要旨が理解できます。Lead は読み手、特に記事に最後まで目を通す時間のない人にとって大切な役割を担っています。

#### Body の特徴

記事全文のうち Lead を除く部分を Body（本文）と言います。Body は通常複数の段落から構成され、Headline や Lead で示された要点を詳しく説明する役割を担っています。Body の段落は情報の核心部分（＝重要度が高い部分）から順に配列され、段落が下がるに従って補足的、周位的（＝重要度が低い）になっていきます。このような段落構成を「逆三角形型」または「逆ピラミッド型」（inverted pyramid style）と呼びます。この構成は、読み手にとっては情報を効率的に把握できるメリットが、書き手にとっては記事の量を調節する際に書き直す手間が省けるメリットがあります。



## その他の新聞英語の特徴

新聞英語に見られるその他の特徴として、次の2つを挙げることができます。

①発言者・報告者の名前は発言・報告内容の後に置かれることが多い。

例1：…be used as a clinical tool for early detection, the researchers cautioned.

例2：“It’s highly interesting to see how it makes people behave,” Kangas said.

②補足説明の挿入が多い。

例1：The unemployment rate of Finland, a nation of 5.5 million, stood at…

例2：Uber Technologies Inc., a major U.S. car dispatch service company, offers…

これらの特徴は、限られたスペースの中で読み手が効率的に要点を把握できるよう工夫した結果生まれたと考えられます。

# CONTENTS

Unit	記事	語数	話題	頁数
1	AI gives 'objective' advice for daily decisions 人工知能、日常の判断に「客観的」助言を提供	298	技術	1
2	Finland to pay unemployed basic monthly income of \$587 フィンランド、失業者に月587ドルの基礎所得支給へ	283	福祉	7
3	Chef helping spread washoku school lunches 料理人、和食給食の普及を援助	323	文化	13
4	Oxfam: 8 men as rich as half the world オックスファム: 8人の富、世界の半数に匹敵	328	経済	19
5	Shrine in Tokyo accepts e-money offerings 東京の神社、電子マネーの賽銭を受け入れ	330	文化	25
6	Reading glasses may become a past thing 読書用メガネ、過去のものになる可能性	329	健康	31
7	Japan to help farmers obtain food safety certificates for 2020 日本、2020年五輪へ向け、農家の「食の安全」認証取得支援へ	329	農業	37
8	Study: Baby brain scans may reveal autism risk 乳児の脳の画像で自閉症のリスク診断が可能に	342	健康	43
9	Tax-sharing services app to be tested 相乗りタクシーアプリ、実証実験へ	349	技術	49
10	Hometown flavors big business in Tokyo 故郷の味、東京で大きなビジネスに	352	経済	55
11	7 Earth-size planets found 地球と同じ大きさの惑星、7つ発見	366	宇宙	61

Unit	記事	語数	話題	頁数
12	Ancient human ancestor stood tall 古代の人類の祖先、背筋を伸ばして立っていた	374	歴史	67
13	Robots gaining more sophisticated 'emotions' ロボット、より高度な「感情」を獲得中	381	技術	73
14	Penguin ancestor may have met T.rex ペンギンの祖先、ティラノサウルスに出会っていた可能性	379	歴史	79
15	Anime boom in China heats up, unaffected by chilly ties 中国でアニメブームが過熱、冷えた日中関係にも影響せず	413	文化	85
16	How to better utilize limited human resources 限りある人材をより良く生かす方法	431	労働	91
17	Moon over the hill at 4.51 billion years old 山の向こうに浮かぶ月は45億1000万歳	427	宇宙	97
18	Shinkansen cleaners in limelight for miraculous work 新幹線の清掃員、神業の仕事ぶりで脚光を浴びる	441	労働	103
19	New insect trap targets harmful species 新しい虫対策の罠、有害種のみを捕獲	448	健康	109
20	ADHD a 'brain disorder,' not just bad behavior ADHD、単なる良くない行動ではなく「脳の障害」	450	健康	115

英字新聞の見出しによく使われる単語 ..... 121

新聞・雑誌によく出る略語 ..... 124

日本の主要官庁名 ..... 125

## Unit の構成

本書の各 Unit は Before reading 1 及び 2, While reading 1~5, After reading 1~3 の 10 のタスクで構成されています。それぞれのタスクのねらいは以下の通りです。

- **Before reading 1** : 背景知識を与えることでトピックに対する興味や理解を促すタスク。
- **Before reading 2** : 専門用語のように文脈から推測が難しいと思われる語句などの意味を確認するタスク。
- **While reading 1** : 記事の様々なところにある情報を項目ごとに整理するノート・テイキングのタスク。
- **While reading 2** : 分量のある文章から特定の情報を探し出すスキニングのタスク。
- **While reading 3** : 文章の要点をすくい取り、全体の大意を理解させるスキミングを意識した要約完成のタスク。
- **While reading 4** : CD を聞いて完成した要約や全体の大意を確認させるリスニングのタスク。
- **While reading 5** : 行間を読み取らせる Inferential questions により読解力を高めるタスク。
- **After reading 1** : 並べ替えの英作文により文法を鍛えるタスク。
- **After reading 2** : 定義から語彙を確認するタスク。
- **After reading 3** : 記事のトピックに関する考えを深めると同時に、自分の意見やアイデアをメモにまとめることでライティングの力を養うタスク。メモを参考に口頭で発表することでスピーキングの力を高めることにもつながります。

本書のタスクは、リーディングを中心としつつ、リスニングやスピーキング、ライティングなどの技能が総合的に育成できるような構成をとっています。

## コラム

Unit		頁数
1	いろいろな読み方に対応した記事の構成	3
2	Headlineの特徴①スペースの効率的利用	9
3	Headlineの特徴②時制の変化	15
4	Headlineの特徴③句読点の使用	21
5	Headlineの特徴④略語、短縮語の使用	27
6	Headlineの特徴⑤つづりの短い語の使用	33
7	Headlineの特徴⑥簡潔な表現の問題点	39
8	Leadの特徴	45
9	Bodyの特徴	51
10	その他の新聞英語の特徴	57

# UNIT 1

## AI gives 'objective' advice for daily decisions

人工知能、日常の判断に「客観的」助言を提供



みなさんは衣服を選んだり、髪型を決める際に、店員の意見を参考にしていますか、それとも自分のセンスで選びますか。もし人工知能がみなさんの選択をサポートしてくれるとしたら、それを積極的に活用したいと思いますか。

人工知能の技術開発が急速に進む近年、日常の判断に「客観的」な助言をするサービスが登場しています。この Unit では、こういったサービスの具体的な事例について学んでいきます。

### Before reading 1

次の説明に目を通し、トピックについての理解を深めましょう。

- 「AI との対話」に対する期待は大きくなっています。プロバイダー大手のビッグローブが 2016 年 5 月に 15 歳以上を対象にインターネット調査を行ったところ、「AI に期待すること」(複数回答)として「コミュニケーション相手」を挙げた人が 32% に上りました。こういった期待を背景に、検索サイト「goo」では 2016 年 9 月から AI に恋の悩みを相談できるサービスを始めています。

- 現在の人工知能は、1950 年代後半から 1960 年代の第一次ブーム、1980 年代の第二次ブームに続く第三次ブームを迎えており、多くの国や企業が技術開発を進めています。一方、人工知能が人間の知能を上回るとされる 2045 年ごろには人間が人工知能を制御できなくなるリスクも指摘されており、人工知能の技術開発に対する反対論も出ています。

### Before reading 2

次の日本語に対応する英語表現を選択肢の中から選び、○で囲みましょう。

- |         |   |
|---------|---|
| 1. 人工知能 | artistic intelligence / artificial intelligence |
| 2. 副店長  | deputy manager / senior manager                 |
| 3. 販売店  | outlet / wholesale store                        |

## AI gives ‘objective’ advice for daily decisions

① More and more companies are offering services utilizing artificial intelligence (AI) to provide advice on daily life, including shopping and romance.

② AI’s ability to recognize languages and images has been improving, as well as its ability to “study” a large volume of data and analyze it. AI’s data-based “objective advice” appears to be widely accepted by customers.

as well as ~  
 ~と同様に  
 a large volume of ~  
 大量の~

③ “The match rate tops 90 percent, which means they’re a good fit for you,” said a clerk at Jin Co.’s JINS Kichijoji Daiyagai store, an eyeglass shop near Kichijoji Station in Tokyo, showing a tablet screen to a customer in mid-December.

Jin Co. 株式会社ジンス  
 (2017年3月までの社名  
 は株式会社ジェイアイエヌ)  
 JINS Kichijoji Daiyagai  
 store  
 JINS 吉祥寺ダイヤ街店  
 Kichijoji Station  
 吉祥寺駅

④ A photo of a customer wearing eyeglasses is taken at the store and imported to the tablet device. AI then judges whether they suit the customer.

⑤ The service is called “JINS BRAIN” and utilizes AI technology. It was launched by the eyewear chain in November last year at about 300 outlets across the country.

⑥ The AI decides based on a database of about 60,000 people. About 3,000 JINS store staff around the country looked at photos of these people wearing eyeglasses and evaluated whether the eyeglasses “suit” or “do not suit.”

⑦ Once a customer’s photo is imported to the tablet device, JINS BRAIN gives the match rate, which ranges from 0 percent to 100 percent.

⑧ “At an ordinary store, I can only get advice from one salesperson, but this [service] is based on lots of people’s opinions,” said a 15-year-old third-year junior high school girl from Nerima Ward, Tokyo. “It’s convincing because it gives [the rate] as a number.”

Nerima Ward 練馬区

⑨ “If only one staff member looks after a customer, sometimes their personal opinion is involved,” said a deputy manager of JINS Kichijoji Daiyagai store. “I hope [a judgment by JINS BRAIN] will provide choices [to customers] based on objective evaluation.”

look after ~  
~の世話をする

35

### While reading 1

次に関して、記事を読んで分かったことをメモしてみましょう。

1. 改良が進んでいる人工知能（AI）の能力の内容

.....

.....

.....

.....

2. JINS BRAIN について

.....

.....

.....

.....

3. 練馬区的女子中学生のコメント

.....

.....

.....

.....



#### column

#### いろいろな読み方に対応した記事の構成

本や雑誌に比べ、新聞はいろいろな読み方をされます。時間をかけて全ての記事を熟読することもある、特定の記事だけを読んだり、記事の最初の部分にさっと目を通すだけのこともあります。新聞記事は最初の部分だけしか読まなくても要点が把握できるよう、Headline（見出し）、Lead（前文）、Body（本文）の3つで構成されています。

#### Task

この Unit の記事の Headline、Lead、Body をそれぞれ○で囲んでみましょう。

## While reading 2

記事の中で次の情報が述べられている段落の番号を書きましょう。

1. JINS 吉祥寺ダイヤ街店のある場所：[            ]
2. JINS BRAIN というサービスが始まった年：[            ]
3. JINS BRAIN が判定の根拠にするデータの意見を提供した店舗スタッフの数：[            ]
4. 練馬区的女子中学生の年齢：[            ]

## While reading 3

空欄に適切な単語または数字を入れ、記事の要約を完成させましょう。  
答えが単語の場合、最初の文字がヒントとして示してあります。

Recently the ability of artificial intelligence (AI) to recognize languages and <sup>(1)</sup>i \_\_\_\_\_ has been improving, as well as its ability to “study” a large volume of data and <sup>(2)</sup>a \_\_\_\_\_ it. In this context, more and more companies are offering services utilizing AI to provide <sup>(3)</sup>a \_\_\_\_\_ on daily life. One such example is a service called “JINS BRAIN,” which was launched by the eyewear chain Jin’s Co. in November 2016. In this service, the AI <sup>(4)</sup>j \_\_\_\_\_ whether eyeglasses suit customers based on a database of about 3,000 JINS store staff’s evaluation of about <sup>(5)</sup> \_\_\_\_\_ people wearing eyeglasses.

## While reading 4

CD を聞き、3 で空欄に入れた単語または数字が正しいか確認しましょう。



## While reading 5

記事が示唆する内容と合致していれば T を、いなければ F を記入しましょう。

1. AI’s ability to “study” a large volume of data and analyze it has been getting better. [            ]
2. The service called “JINS BRAIN” has been provided for more than three years. [            ]
3. The match rate which JINS BRAIN gives customers sometimes falls below zero percent. [            ]
4. A 15-year-old junior high school girl thinks the advice she gets at the JINS store is better than what she gets at an ordinary store. [            ]

## After reading 1

語句を並べ替えて英文を完成させましょう。間違った場合解答欄に正しい答えを書くこと。なお、文頭に来る語句も小文字にしています。

1. 人工知能が大量のデータを「学習」して分析する能力は向上しつつある。

( of / to / data / “study” / AI’s ability / a large volume ) has been improving.

予想 : .....

解答 : .....

2. 人工知能を利用したサービスを提供する企業が増えている。

More and ( are / more / offering / services / companies / utilizing ) artificial intelligence.

予想 : .....

解答 : .....

3. 眼鏡をかけた客の写真が店で撮影される。

A photo ( is / of / taken / wearing / eyeglasses / a customer ) at the store.

予想 : .....

解答 : .....

4. 約 3,000 人のスタッフが、その眼鏡が「似合う」か「似合わない」かを評価した。

About ( or / “suit” / whether / evaluated / the eyeglasses / 3,000 staff ) “do not suit.”

予想 : .....

解答 : .....

## After reading 2

次の説明はどの語についてのものか、文中から抜き出して必要に応じて正しい形に直しましょう。最初の文字がヒントとして示してあります。

1. a machine or tool that does a special job
2. to start something, usually big or important
3. someone whose job is to help people in a shop
4. making you believe that something is true or right
5. not real or not made of natural things but made to be like something that is real or natural
6. based on facts, or making a decision that is based on facts rather than on your feelings or beliefs

1. d                      2. l                      3. c  
4. c                      5. a                      6. o

## After reading 3

次の課題について、自分の考えを述べましょう。

あなたは人工知能が日常の判断に関わることに賛成ですか、反対ですか。また、その理由は何ですか。あなたの考えを書いてみましょう。



日本語でのメモ

英語でのメモ